

表1 小説 404 作品

阿川弘之『山本五十六』	菊池寛『義民甚兵衛』	森鷗外『普請中』
安部公房『砂の女』	菊池寛『極楽』	森鷗外『附寒山拾得縁起』
伊藤左千夫『守の家』	菊池寛『形』	森鷗外『舞姫』
伊藤左千夫『浜菊』	菊池寛『時勢は移る』	森鷗外『妄想』
伊藤左千夫『姪子』	菊池寛『俊寛』	森鷗外『余興』
伊藤左千夫『野菊の墓』	菊池寛『真似』	水上勉『越前竹人形』
井上ひさし『フンとフン』	菊池寛『忠直卿行状記』	水上勉『雁の寺』
井上靖『あすなる物語』	菊池寛『敵討以上』	星新一『人民は弱し、官吏は強し』
井伏鱒二『黒い雨』	菊池寛『藤十郎の恋』	石川淳『かよい小町』
遠藤周作『沈黙』	菊池寛『入れ札』	石川淳『マルスの歌』
塩野七生『コンスタンティノープルの陥落』	菊池寛『父帰る』	石川淳『葦手』
夏目漱石『ケーベル先生』	菊池寛『蘭学事始』	石川淳『喜寿童女』
夏目漱石『こころ』	菊池寛『籐十郎の恋（戯曲）』	石川淳『山桜』
夏目漱石『永日小品』	吉行淳之介『砂の上の植物群』	石川淳『奴女懐胎』
夏目漱石『我輩は猫である』	吉行淳之介『樹々は緑か』	石川淳『焼跡のイエス』
夏目漱石『虞美人草』	吉村昭『戦艦武蔵』	石川淳『張柏端』
夏目漱石『坑夫』	久米正雄『学生時代』	石川淳『変化雑載』
夏目漱石『行人』	宮沢賢治『オツベルと象』	石川啄木『一握の砂・悲しき玩具』
夏目漱石『三四郎』	宮沢賢治『カイロ団長』	石川達三『青春の蹉跎』
夏目漱石『思い出す事など』	宮沢賢治『シグナルとシグナレス』	赤川次郎『女社長に乾杯!』
夏目漱石『手紙』	宮沢賢治『セロ弾きのゴーシュ』	川端康成『雪国』
夏目漱石『硝子戸の中』	宮沢賢治『ヒンジテリアン大祭』	泉鏡花『歌行燈』
夏目漱石『草枕』	宮沢賢治『ひのきとひなげし』	泉鏡花『高野聖』
夏目漱石『道草』	宮沢賢治『マリウロンと少女』	泉鏡花『国貞えかく』
夏目漱石『二百十日』	宮沢賢治『よたかの星』	泉鏡花『女客』
夏目漱石『彼岸過迄』	宮沢賢治『黄いろのトマト』	泉鏡花『売色鴨南蛮』
夏目漱石『文鳥』	宮沢賢治『銀河鉄道の夜』	泉鏡花『婦系図』
夏目漱石『変な音』	宮沢賢治『双子の星』	曾野綾子『太郎物語』
夏目漱石『坊ちゃん』	宮沢賢治『猫の事務所』	倉橋由美子『聖少女』

夏目漱石『夢十夜』	宮沢賢治 『北守将軍と三人兄弟の医者』	倉田百三『出家とその弟子』
夏目漱石『明暗』	宮沢賢治『饑餓陣営』	村上春樹『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』
夏目漱石『門』	宮本輝『錦繡』	太宰治『人間失格』
夏目漱石『野分』	五木寛之『風に吹かれて』	大岡昇平『野火』
夏目漱石『倫敦塔』	幸田露伴『王羲之』	大江健三郎『死者の奢り』
芥川龍之介『アク'ニの神』	幸田露伴『画題としての詩仙』	大江健三郎『飼育』
芥川龍之介『あは'は'は'は'』	幸田露伴 『晋の僧法顕南アメリカに至る?』	大江健三郎『人間の羊』
芥川龍之介『おき'ん』	幸田露伴『蘇子瞻米元章』	大江健三郎『戦いの今日』
芥川龍之介『おしの』	幸田露伴『蘇東坡と海南島』	大江健三郎『他人の足』
芥川龍之介『きりしとほろと人伝』	幸田露伴『太公望』	大江健三郎『不意の唾』
芥川龍之介『さまよえる猶太人』	幸田露伴『芭蕉入門』	沢木耕太郎『一瞬の夏』
芥川龍之介『トロッコ』	幸田露伴『文字と秦の丞相李斯』	谷崎潤一郎『痴人の愛』
芥川龍之介『るしへる』	幸田露伴『楊貴妃と香』	池波正太郎『剣客商売』
芥川龍之介『或阿呆の一生』	高野悦子『二十歳の原点』	竹山道雄『ヒ'ルマの豎琴』
芥川龍之介『或日の大石内蔵之助』	国木田独歩『おとつ'れ』	中島敦『山月記』
芥川龍之介『一塊の土』	国木田独歩『たき火』	中島敦『弟子』
芥川龍之介『芋粥』	国木田独歩『わかれ』	中島敦『名人伝』
芥川龍之介『運』	国木田独歩『遺言』	中島敦『李陵』
芥川龍之介『煙草と悪魔』	国木田独歩『運命論者』	長塚節『土』
芥川龍之介『猿蟹合戦』	国木田独歩『岡本の手帳』	長与善郎『青銅の基督』
芥川龍之介『往生絵巻』	国木田独歩『河霧』	椎名誠『新橋烏森口青春篇』
芥川龍之介『河童』	国木田独歩『窮死』	田山花袋『蒲団』
芥川龍之介『開化の殺人』	国木田独歩『牛肉と馬鈴薯』	田山花袋『重右衛門の最後』
芥川龍之介『戯作三昧』	国木田独歩『空知川の岸边』	田山花袋『生』
芥川龍之介『袈裟と盛遠』	国木田独歩『源叔父』	田山花袋『田舎教師』
芥川龍之介『犬と笛』	国木田独歩『郊外』	田辺聖子『新源氏物語』
芥川龍之介『玄鶴山房』	国木田独歩『号外』	渡辺淳一『花埋み』
芥川龍之介『枯野抄』	国木田独歩『死』	島崎藤村『ある女の生涯』
芥川龍之介『好色』	国木田独歩『糸くず'』	島崎藤村『家』
芥川龍之介『黒衣聖母』	国木田独歩『詩想』	島崎藤村『芽生』

芥川龍之介『糸女覚え書』	国木田独歩『鹿狩』	島崎藤村『海へ』
芥川龍之介『歯車』	国木田独歩『酒中日記』	島崎藤村『岩石の間』
芥川龍之介『邪宗門』	国木田独歩『春の鳥』	島崎藤村『旧主人』
芥川龍之介『秋』	国木田独歩『巡查』	島崎藤村『桜の実の熟する時』
芥川龍之介『俊寛』	国木田独歩『初孫』	島崎藤村『三人』
芥川龍之介『神神の微笑』	国木田独歩『初恋』	島崎藤村『刺繍』
芥川龍之介『雛』	国木田独歩『渚』	島崎藤村『市井にありて』
芥川龍之介『澄江堂雜記』	国木田独歩『少年の悲哀』	島崎藤村『春』
芥川龍之介『西方の人』	国木田独歩『星』	島崎藤村『食堂』
芥川龍之介『仙人』	国木田独歩『絶望』	島崎藤村『伸び・支度』
芥川龍之介『大導寺信輔の半生』	国木田独歩『竹の木戸』	島崎藤村『新生』
芥川龍之介『地獄変』	国木田独歩『二老人』	島崎藤村『千曲川のスケッチ』
芥川龍之介『蜘蛛の糸』	国木田独歩『疲労』	島崎藤村『船』
芥川龍之介『庭』	国木田独歩『富岡先生』	島崎藤村『足袋』
芥川龍之介『杜子春』	国木田独歩『武蔵野』	島崎藤村『桃の雫』
芥川龍之介『年末の一日』	国木田独歩『忘れえぬ人々』	島崎藤村『藤村詩稿』
芥川龍之介『白』	三浦綾子『塩狩峠』	島崎藤村『藤村詩集』
芥川龍之介『鼻』	三浦哲郎『忍ぶ川』	島崎藤村『熱海土産』
芥川龍之介『舞踏会』	三島由紀夫『金閣寺』	島崎藤村『破戒』
芥川龍之介『文芸的な、余りに文芸的な』	三木清『人生論ノート』	島崎藤村『分配』
芥川龍之介『報恩記』	山本周五郎『さぶ』	島崎藤村『並木』
芥川龍之介『奉教人の死』	山本有三『路傍の石』	島崎藤村『夜明け前』
芥川龍之介『魔術』	司馬遼太郎『国盗り物語』	島崎藤村『嵐』
芥川龍之介『蜜柑』	志賀直哉『雨蛙』	島崎藤村『藁草履』
芥川龍之介『羅生門』	志賀直哉『好人物の夫婦』	筒井康隆『エテ・ィブ・スの恋人』
芥川龍之介『竜』	志賀直哉『濠端の住まい』	藤原正彦『若き数学者のアメリカ』
芥川龍之介『六の宮の姫君』	志賀直哉『佐々木の場合』	徳田秋声『あらくれ』
芥川龍之介『侏儒の言葉』	志賀直哉『山科の記憶』	徳田秋声『縮図』
芥川龍之介『偷盜』	志賀直哉『十一月三日午後の事』	二葉亭四迷『あひびき』
芥川龍之介『藪の中』	志賀直哉『小僧の神様』	二葉亭四迷『くされ縁』
芥川龍之介『蜃気楼』	志賀直哉『城の崎にて』	二葉亭四迷『其面影』
開高健『ハニック』	志賀直哉『真鶴』	二葉亭四迷『浮雲』
開高健『巨人と玩具』	志賀直哉『赤西蠣太』	二葉亭四迷『平凡』

開高健『裸の王様』	志賀直哉『雪の日』	二葉亭四迷『片恋』
開高健『流亡記』	志賀直哉『痴情』	樋口一葉『うつせみ』
梶井基次郎『Kの昇天』	志賀直哉『転生』	樋口一葉『たけくらべ』
梶井基次郎『ある崖上の感情』	志賀直哉『冬の往来』	樋口一葉『にこりえ』
梶井基次郎『ある心の風景』	志賀直哉『晩秋』	樋口一葉『ゆく雲』
梶井基次郎『のんきな患者』	志賀直哉『焚火』	樋口一葉『わかれ道』
梶井基次郎『愛撫』	志賀直哉『流行感冒』	樋口一葉『われから』
梶井基次郎『闇の絵巻』	志賀直哉『瑣事』	樋口一葉『十三夜』
梶井基次郎『過古』	小林秀雄『モオツァルト』	樋口一葉『大つこもり』
梶井基次郎『器楽的幻覚』	小林秀雄『偶像崇拜』	尾崎紅葉『金色夜叉』
梶井基次郎『交尾』	小林秀雄『光悦と宗達』	尾崎紅葉『新続金色夜叉』
梶井基次郎『桜の樹の下には』	小林秀雄『骨董』	尾崎紅葉『続金色夜叉』
梶井基次郎『城のある町にて』	小林秀雄『実朝』	尾崎紅葉『続続金色夜叉』
梶井基次郎『雪後』	小林秀雄『真贋』	武者小路実篤『友情』
梶井基次郎『蒼穹』	小林秀雄『西行』	福永武彦『草の花』
梶井基次郎『泥濘』	小林秀雄『雪舟』	北原白秋詩集『歌謡』
梶井基次郎『冬の日』	小林秀雄『蘇我馬子の墓』	北原白秋詩集『海豹と雲』
梶井基次郎『冬の蠅』	小林秀雄『鉄斎』	北原白秋詩集『思ひ出』
梶井基次郎『椽の花』	小林秀雄『徒然草』	北原白秋詩集『真珠抄』
梶井基次郎『路上』	小林秀雄『当麻』	北原白秋詩集『水墨集』
梶井基次郎『檸檬』	小林秀雄『平家物語』	北原白秋詩集『第二白金之独楽』
梶井基次郎『笥の話』	小林秀雄『無常という事』	北原白秋詩集『東京景物詩』
葛西善蔵『悪魔』	松本清張『点と線』	北原白秋詩集『白金之独楽』
葛西善蔵『暗い部屋にて』	新田次郎『孤高の人』	北杜夫『榆家の人ひと』
葛西善蔵『湖畔手記』	森鷗外『カス・イスチカ』	堀辰雄『美しい村』
葛西善蔵『子をつれて』	森鷗外『かのように』	堀辰雄『風立ちぬ』
葛西善蔵『呪はれた手』	森鷗外『しゝいさんはあさん』	野坂昭如『アメリカひしぎ』
葛西善蔵『春』	森鷗外『キタ・セクスアリス』	野坂昭如『フ・アホーイ』
葛西善蔵『酔狂者の独白』	森鷗外『阿部一族』	野坂昭如『ラ・クンハールシータ』
葛西善蔵『仲間』	森鷗外『寒山拾得』	野坂昭如『火垂るの墓』
葛西善蔵『椎の若葉』	森鷗外『雁』	野坂昭如『死児を育てる』
葛西善蔵『埋葬そのほか』	森鷗外『興津弥五右衛門の遺書』	野坂昭如『焼土層』
岩野泡鳴『断橋』	森鷗外『鶏』	柳田国男『遠野物語』

岩野泡鳴『毒薬を飲む女』	森鷗外『護持院原の敵討』	有吉佐和子『華岡青洲の妻』
岩野泡鳴『発展』	森鷗外『高瀬舟』	有島武郎『或る女』
岩野泡鳴『放浪』	森鷗外『高瀬舟縁起』	有島武郎『小さき者へ』
岩野泡鳴『憑き物』	森鷗外『最後の一句』	有島武郎『生れ出つゝる悩み』
岩野泡鳴『憑き物補遺』	森鷗外『塚事件』	有島武郎『惜みなく愛は奪う』
菊池寛『ある恋の話』	森鷗外『山椒大夫』	里見『多情仏心』
菊池寛『屋上の狂人』	森鷗外『青年』	立原正秋『冬の旅』
菊池寛『恩を返す話』	森鷗外『二人の友』	林芙美子『放浪記』
菊池寛『恩讐の彼方に』	森鷗外『杯』	壺井栄『二十四の瞳』
菊池寛『海の勇者』	森鷗外『百物語』	